

## ウィークリー・ブレッド・オブ・ライフ

(2025年12月8日(月)～14日(日))

岸和田聖書教会

牧師 栗原純人

「ブレッド・オブ・ライフ」とは「いのちのパン」(ヨハネ6:48)。「わたしはいのちのパンです」と言われるイエス・キリストさまに目を向け、みことばによって主を食しましょう。今日一日の力です。以下の手順を参考に聖書を読みましょう。

1. 静まります。「しかし私は 義のうちに御顔を仰ぎ見 目覚めるとき 御姿に満ち足りるでしょう。」(詩篇17:15)。神さまがあなたを呼んでおられます。
2. 声に出してその日の聖書日課を読みます。
3. 気づいたこと、わからないことなどをノートに箇条書きし、その後『みことばの光』、このブレッド・オブ・ライフの文章を読みます。わかったことがあったら、さらに書いてみましょう。『みことばの光』は一冊(一ヶ月)430円(注文は栗原弥希姉まで)。
4. もう一度、聖書日課を読みます。違う響きがあるでしょうか?
5. 祈りましょう。実際に声に出して。そして祈りの中心部分を書いてみましょう。一日の終わりに、今朝の聖書を思い起こし、みことばがどのように生きたか、思い巡らしながら、おやすみなさい。

12月8日(月)

今日の聖書日課:詩篇89:1～18

「わたしは わたしの選んだ者と契約を結び わたしのしもべダビデに誓う。わたしは あなたの裔をとこしえまでも堅く立てあなたの王座を世々限りなく打ち立てる。」 セラ

詩篇89:3～4

詩人は言います。「御恵みは とこしえに打ち立てられ あなたはその真実を 天に堅く立てておられます。」(2)。とこしえの真実はどのように立てられるのか?それは「わたしが選んだ者」、「わたしのしもべダビデ」によるのです。

「あなたは海の高まりを治めておられます。波が逆巻くとき あなたはそれを鎮められます。」(9)。新約聖書にこのみことばの成就を見ることができます。「イエスは起き上がって風をしかりつけ、湖に『黙れ、静まれ』と言われた。すると風はやみ、すっかり凪になった。」(マルコ4:39)

神である主が選ばれた御子、ダビデの子孫、イエス・キリストによって、神の恵みはとこしえに打ち立てられるのです。

12月9日(火)

今日の聖書日課:詩篇89:19～37

しかし わたしは彼から恵みをもぎ取らす わたしの真実を偽らない。

詩篇89:33

主はかつて言われました「わたしは、一人の勇士に助けを与え 民の中から一人の若者を高く上げた。」(19)。その若者とはダビデでした(30)。「わたしの真実とわたしの恵みは 彼とともにあり わたしの名によって 彼の角は高く上げられる。」(24)。そして「わたしは 彼の子孫をいつまでも彼の王座を天の日数のように続かせる。」(29)と言われました。しかし、ダビデの子孫の王権はバビロン捕囚によって終わりました。しかし、この王権はとこしえに続くのです。その「彼」とはイエス・キリスト。「わたしは彼から恵みをもぎ取らず わたしの真実を偽らない。」。民の背きと咎を主が罰するときも(32)、「彼」によって民は救われるのです。

12月10日（水） 本日は祈祷会の日です。10：30から教会、19：30からオンライン。

今日の聖書日課：詩篇 89：38～52

主は とこしえにほむべきかな。 アーメン、アーメン

詩篇 89 篇はダビデの子孫、イエス・キリストを表わす歌です。しかし、詩人自身はまだ、そのことを確信していません。自分の置かれている状況を嘆き、叫んでいます。イスラエルが敵に打ち負かされ、ダビデの王座が地に投げ倒されたからです。詩人は言います。「主よ あなたのかつての恵みは どこにあるのでしょうか。あなたは 真実をもって ダビデに誓われたのです。」(49)。

「主よ あなたの敵どもはそしりました。あなたに油注がれた者の足跡をそしったのです。」(51)  
これでこの詩は終わり。かと思いきや、そうではない。冒頭の聖句。

なぜ主を、とこしえにほめたたえるのでしょうか？詩人のうちにメシアが示されたからです。

12月11日（木）

今日の聖書日課：Iペテロ 1：1～12

あなたがたはイエス・キリストを見たことはないけれども愛しており、今見てはいないけれども信じており、ことばに尽くせない、栄えに満ちた喜びに躍っています。

Iペテロ 1：8

今日からペテロの手紙を読んでいきます。ペテロ自身はイエスを見、聞き、触った人物でしたが、これを書いている彼はもはやイエスを見ていません。主は昇天されたから。そしてこの手紙の宛先の聖徒たちは、そもそもイエスを見たことはない。しかし彼はこう言うのです。「あなたがたは…栄えに満ちた喜びに躍っている」と。それは「あなたがたが、信仰の結果であるたましいの救いを得ているからです。」(9)。今の私たちとまったくいっしょ。それなのに、もし私たちが「栄えに満ちた喜びに」躍っていないならそれはなぜでしょうか？

12月12日（金）

今日の聖書日課：Iペテロ 1：13～25

あなたがたが新し生まれたのは、朽ちる種からではなく朽ちない種からであり、生きた、いつまでも残る、神のことばによるのです。

Iペテロ 1：23

新生はどのように起こるのか？イエス・キリストの血が流されたこと、十字架の贖いのゆえ。クリスチャンは「その血の注ぎかけを受けるよう選ばれた人たち」(2)。そしてクリスチャンはこのイエス・キリストをみことばによって信じる者たちです。「生きた、いつまでも残る、神のことば」。このことばを聞いて、信じる者。そこには聖霊が働き、そこに「栄えに満ちた喜び」があるのです。

みことばと聖霊。私たちの新生も、成長もすべてはそこにかかっているのです。

12月13日（土）

今日の聖書日課：Iペテロ 2：1～10

生まれたばかりの乳飲み子のように、純粋な、靈の乳を慕い求めなさい。それによって成長し、救いを得るためです。

Iペテロ 2：2

もう乳飲み子の頃に戻ることはできません。しかしあつて乳飲み子のように、ただ、靈の乳、みことばを慕い求めしよう。救いがよりリアルに迫ってきます。

12月14日（日） アドベント第三主日

礼拝説教箇所：ヨハネ 1：9～13 「神の子どもとなる」

「生まれた」ってどういうことでしょうか？